

第9回 International Conference on Tourism Research 2026 への参加

2026年4月16日～17日

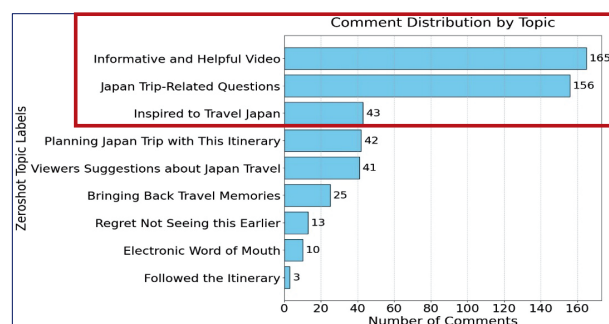
2026年4月16日から17日にかけて、ポルトガル・リスボンにて、International Conference on Tourism Research（観光研究国際大会、ICTR）2026が開催され、当研究所からシャー・サイド・アリフ・フセイン研究員が参加して発表を行った。ICTRは、Academic Conferences and Publishing International（ACPI）が毎年主催している、観光分野における主要な課題について研究者及び実務家が議論を行う国際学術会議である。第9回の開催となった今回の焦点は持続可能かつ責任ある観光であった。

当研究所のアリフ研究員は、「ソーシャルメディアプラットフォームにおける日本旅行プランの動画に対する視聴者の関心分析」（原文は英語）と題して研究発表を行った。その概要は、「Transformer」をベースとする深層学習モデルを用いてユーザーのコメントを分析し、YouTube、TikTok、Instagramにおけるインフルエンサーの日本旅行プランの動画に対し、視聴者がどのように関心を示しているかを検証し、各プラットフォーム間における感情、情緒的反応及び旅行意向の違いを分析したものである。その結果、YouTubeでは旅行計画や訪問意図に関する詳細な反応が多く見られた一方で、TikTok及びInstagramでは短文かつ感情的な反応が中心で



アリフ研究員

Zero-Shot Topic Mapping of YouTube Video Comments



YouTubeコメントのトピック分析結果（インフルエンサーのコンテンツは主に情報探索や旅行計画への関心を喚起している（赤枠内）。その一方で、一部の旅行者を即時的な行動へと導いていることも示された。）

あることが確認された。

質疑応答では、分析結果の妥当性を検証するために複数の感情分析モデルを追加すべきであること、また、より詳細な分析のために動画サンプルを拡張すべきであるとの意見があった。これに対してアリフ研究員は、今後、追加のモデルを用いて検証し、分析対象となるコメント数を増やすため動画サンプルを拡張する予定である旨を回答した。



開会セッションの様子



欧州の持続可能な観光に関する施策についての議論の様子

アリフ研究員による、「持続可能な観光におけるインフルエンサー及びソーシャルメディアの役割に関する研究調査」のこれまでの活動内容は運輸総合研究所のWEBページでご覧いただけます。

https://www.jttri.or.jp/research/tourism/social_media.html

